

[本の持ち出し] ボタンを活性化させる

土木技サポートセンター

最終更新日：2008年12月22日

概要

クライアントサーバー型において、クライアント機より「本の持ち出し」を行おうとする際に、持ち出しできる条件は満たしているのに、本の持ち出しボタンが非活性になっている場合の対処法です。



本手順書の操作が対象のお客様

- 土木技クライアント機に誤って土木技サーバーもインストールされたお客様
- 土木技スタンドアロン機から土木技クライアント機に変更されたお客様

本手順書の操作が必要でないお客様

- 土木技スタンドアロン版をご利用のお客様
- 土木技サーバー/クライアントを両方ともインストールされているお客様

対応可能な土木技のタイプ

土木技の種類	 土木技 CC/RC	 土木技 CALS
対応可能なバージョン	全バージョンで可能	Ver5.1 以降
スタンドアロン	×	×
サーバー	×	×
クライアント		

スタンドアロン/クライアント/サーバーの見分け方は別書「【土木技の基礎知識】単独版とネットワーク版の見分け方」を参照してください。

注意事項

レジストリ操作は、Windows そのものに対して設定/変更を行うため、操作方法によってはパソコンが動作しなくなる等の問題が発生する可能性があります。

操作方法によってはパソコンの動作が異常になり、最悪の場合、動作しなくなる可能性があります。操作はお客様の責任により行っていただきますよう、お願いいたします。

< 「本の持ち出し」 ボタンを活性化させる >

作業前の確認事項

持ち出しできる本を選択しても本の持ち出しボタンが非活性であることを確認してください。

本棚設定で「更新可能ユーザー」になっているか？

本棚のアイコンが青い場合、更新可能ユーザーへ設定してください。

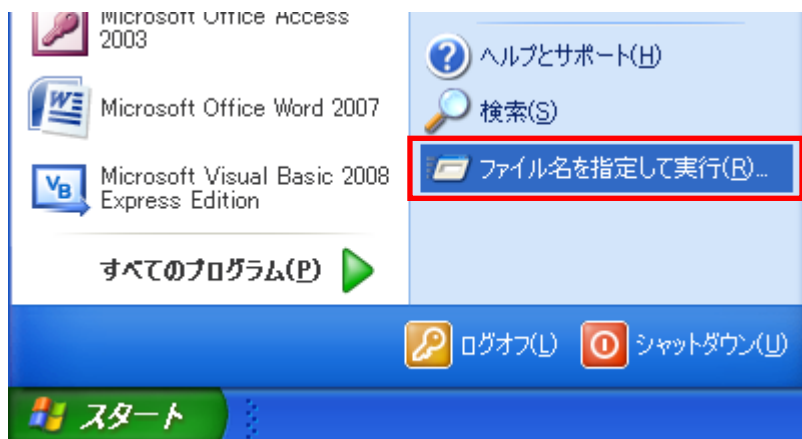
サーバープログラムが同時にインストールされているか？

サーバープログラムが同時にインストールされている場合は、持ち出し操作を行わなくてもパソコンの中にデータがあります。持ち出しの必要はありません。

サーバープログラムが同時にインストールされている場合には、これより先の操作は行わないでください。

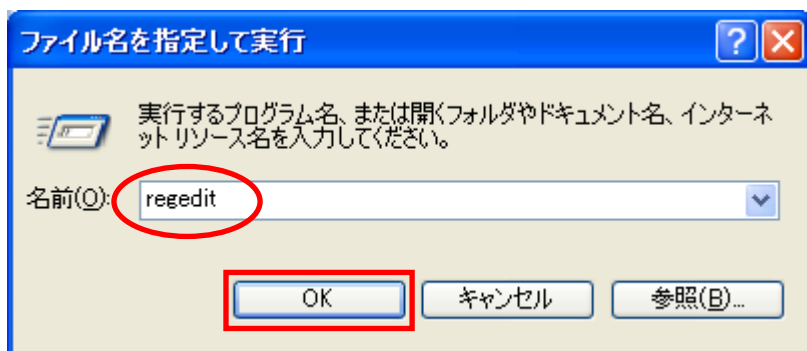
操作手順

「スタート」 ボタンの「ファイル名を指定して実行」をクリックします。



「ファイル名を指定して実行」画面が表示されます。

ファイル名を「regedit」と入力し、[OK] ボタンをクリックします。

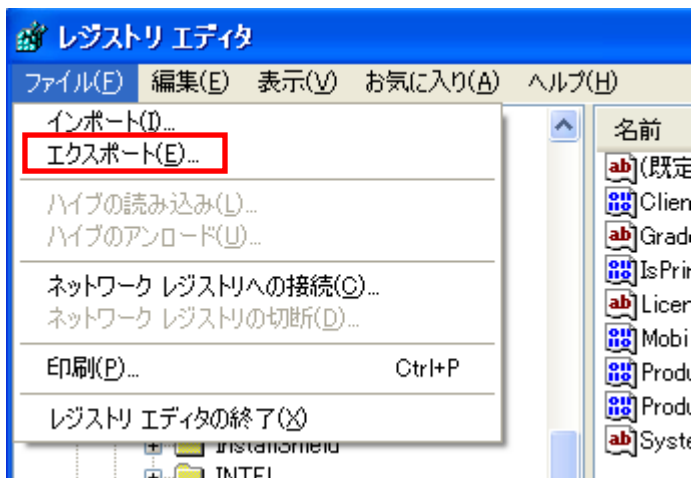


「レジストリエディタ」画面が表示されます。

< 「本の持ち出し」 ボタンを活性化させる >

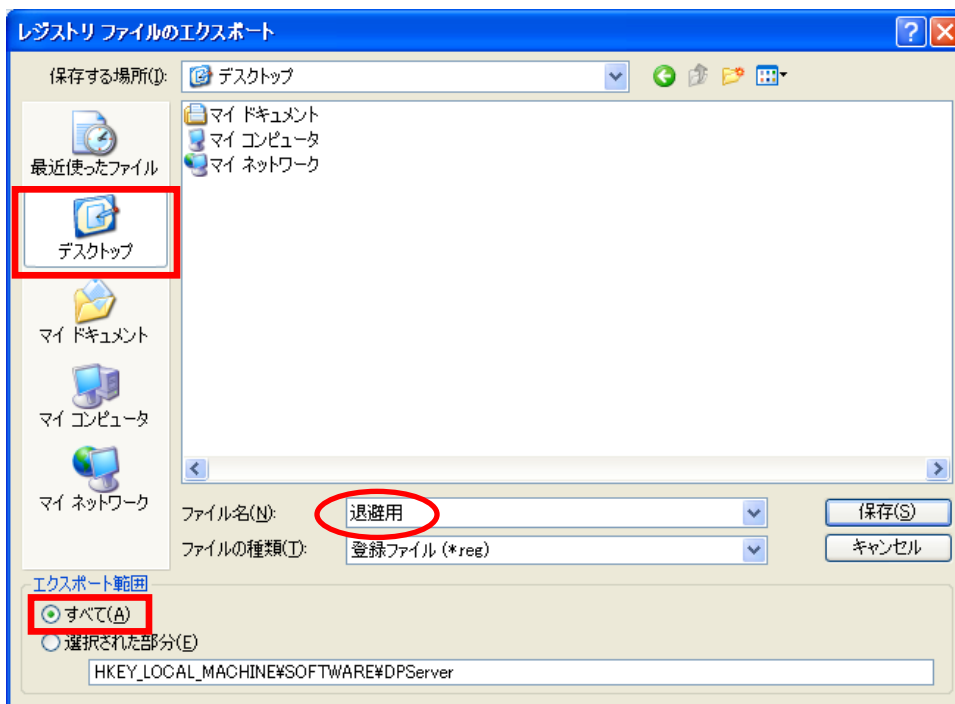
万が一のため、元のデータを退避しておきます。

「ファイル」メニューから「エクスポート」を選択します。



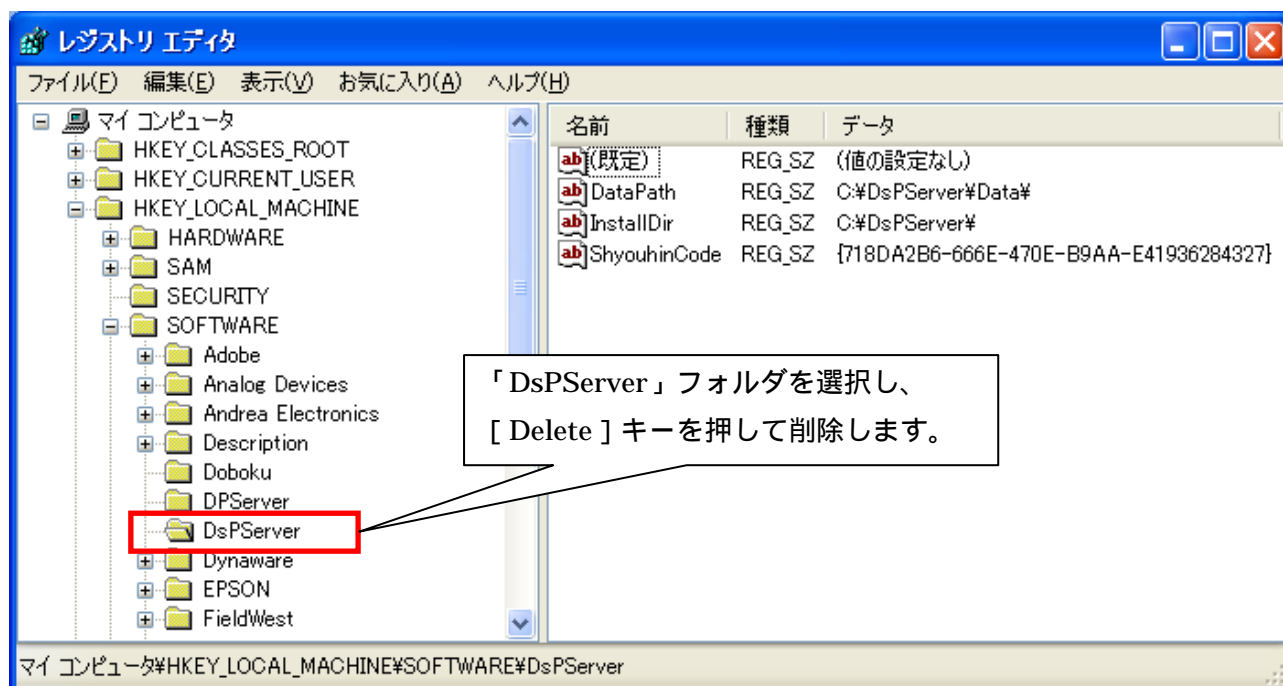
エクスポート先を「デスクトップ」に設定し、ファイル名を「退避用」にします。

エクスポート範囲は「すべて」にチェックします。



< 「本の持ち出し」 ボタンを活性化させる >

HKEY_LOCAL_MACHINE¥SOFTWARE¥DspServer フォルダを削除します。



土木技を再度起動し、[本の持ち出し] が活性化されているか確認します。

(正常に動作したら、デスクトップに作成した「退避用」ファイルは削除してください)

以上